

1. 8月例会 8/21 ホトケドジョウ調査 参加 10名

これまでのホトケドジョウ調査では、毎回、浄化池・田んぼ下の観察点の観察数がゼロに近いことが問題でした。浄化池は本流からの水分岐の詰まりによる水不足、田んぼ下は田んぼは水温の上昇が原因でした。

今回、浄化池では分岐点の入口の本流堰で調査をしたところ1.5～5.5cmの個体が合計12個体も観察、田んぼ下は水温上昇前の水がある「ため池」で調査をしたところ1.5～5cmの個体が25個体も観察でき、水温の重要性を再認識しました。



光に集まる夜の昆虫観察会

2. 里山散歩

8/6 夜の昆虫観察会 参加 25名、スタッフ5名 合計 30名

毎夏、子供たちに人気の高い「夜の昆虫観察会」を行いました。過去に参加者が多すぎて混乱した反省から、一般参加枠 25名としました。講師と一緒に昆虫観察ができ、人数的にはちょうど良いという状態でした。実際の観察でも子供たちが次々と昆虫を見つけ興奮と感動の観察会でした。

8/21 真夏のチョウ観察会 参加 17名 スタッフ2名 合計 19名

上村さんのチョウ観察会は、飛び回る成虫のチョウだけでなく卵・幼虫もできるだけ紹介し、その大事な生息環境を知ってもらう特色があります。今回も目の前のキタキチョウの産卵、食草のジュズダマで見つけたクロコノマチョウの卵・幼虫、エノキで見つけたアカボシゴマダラの幼虫など観察できました。



蛹化中のジャコウアゲハ紹介で始まった観察会

2.任意調査

1) 木曜班 8/25 4名 田んぼビオトープ草刈り

雑草に覆われていたビオトープの草刈りをしました。水面が見えると、早速トンボがやってきて産卵を始め、ビオトープの機能がよみがえりました。



草刈り前



草刈り後

2) 植物班 8/3 4名管理植物確認、タコノア

シマわり除草、御所川沿いの植物管理、

8/10 1名 鎌倉山入り口から外周

8/16 1名 植物観察、

8/21 1名 植物観察と花壇の手入れ

8/23 1名 調査と管理植物の確認、簡単な除草など

8/24 1名 植物観察、御所川沿、木道、奥竹が谷

8/28 1名 植物観察、ヒヨドリバナの種名確認、峯山で

ツルボ保護

3) チョウ観察班

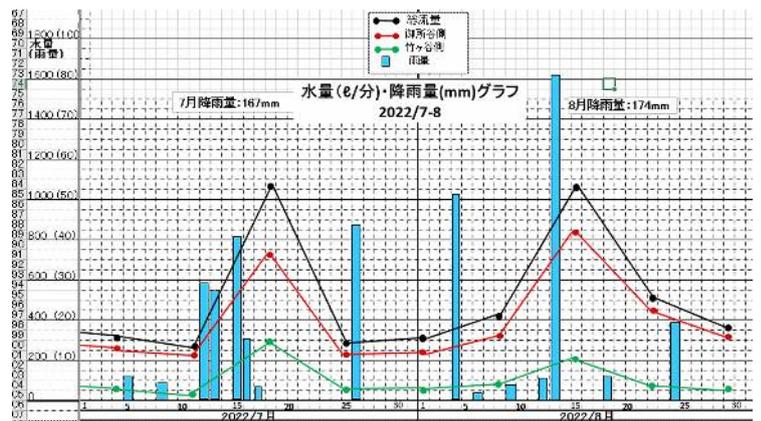
8/12 1名 生息調査 8/19 1名 生息調査

8/21 観察会 17名 講師 2名

8/30 1名 生息調査

4) 水量調査班 8/1, 8, 15, 21, 28 延べ4日 4名

2回大雨があり、水量の様子は7月と同様に期待水準(御所谷 200ℓ/m 竹ヶ谷 50ℓ/m) 以上が保たれている。



9月の予定 浄化センター上の植生を森の会と調査